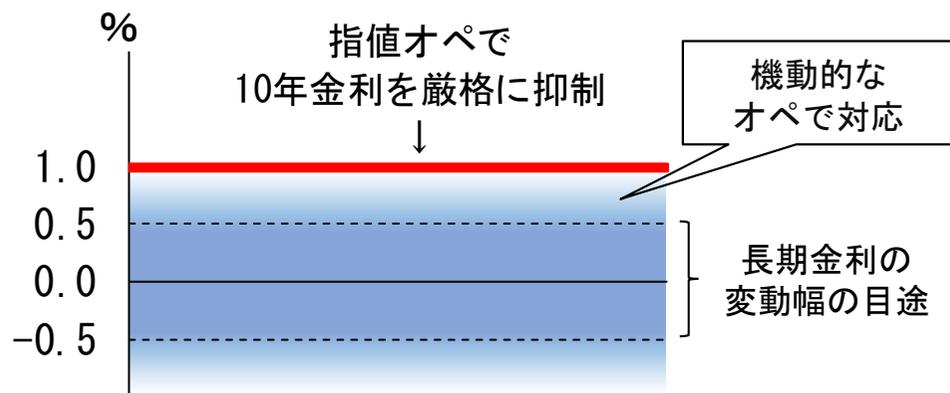


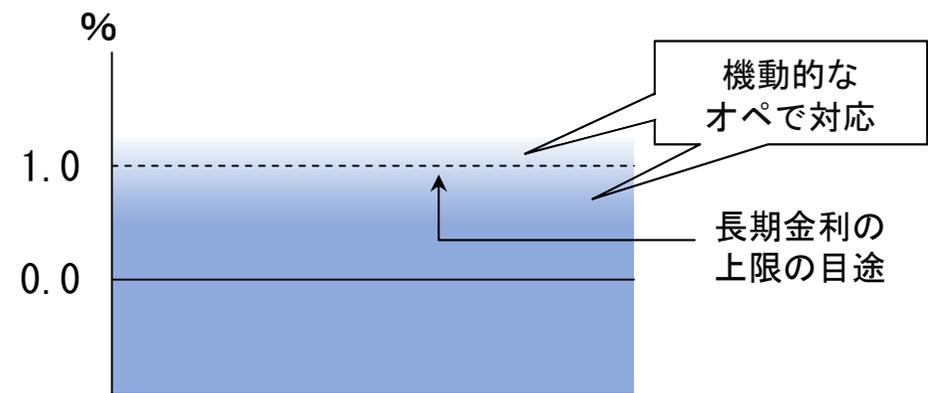
イールドカーブ・コントロール（YCC）の運用のさらなる柔軟化

- イールドカーブ・コントロール（短期：-0.1%、長期：ゼロ%程度）のもとで粘り強く金融緩和を継続することで、経済活動を支え、賃金が上昇しやすい環境を整えていく
 - 消費者物価の基調的な上昇率は、見通し期間終盤にかけて、2%の「物価安定の目標」に向けて徐々に高まっていくとみているが、その際には賃金と物価の好循環が強まっていく必要
- 内外の経済や金融市場を巡る不確実性がきわめて高い中、今後の情勢変化に応じて、金融市場で円滑な長期金利形成が行われるよう、イールドカーブ・コントロールの運用において、柔軟性を高めておくことが適当と判断

<従来の運用>



<さらなる柔軟化後の運用>



<物価見通し>

対前年度比、%、政策委員見通しの中央値

	2023年度		2024年度		2025年度	
		7月見通し		7月見通し		7月見通し
CPI 除く生鮮食品	+2.8	+2.5	+2.8	+1.9	+1.7	+1.6
(参考) 除く生鮮食品・エネルギー	+3.8	+3.2	+1.9	+1.7	+1.9	+1.8